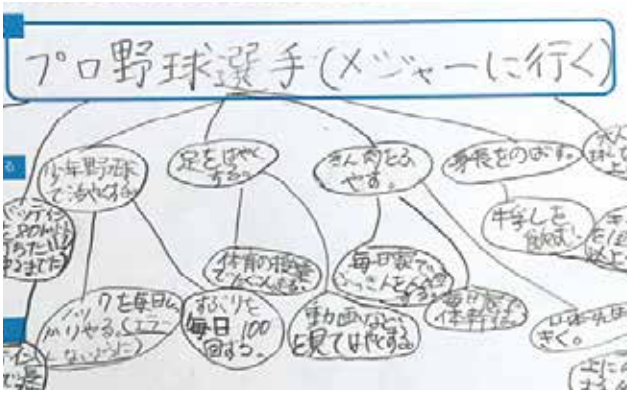
セサミストリート・カリキュラム

セサミストリート・カリキュラムは、学年ごとに「目標と選択」「方法と手段」「価値の理解」「多様性とインクリュージョン」の４カテゴリー12プログラムで構成され、セサミストリートのキャラクターと共に学ぶ教材が準備されている。各学校の課題に応じてプログラムを選択し、「主体的に判断する力」「協働する力」「新たな価値を創造する力」「多様性を理解する力」などを育成する。

児童のワークシートから見る各カリキュラムの内容

目標と選択

1　夢をえがく　2　目標をたてる



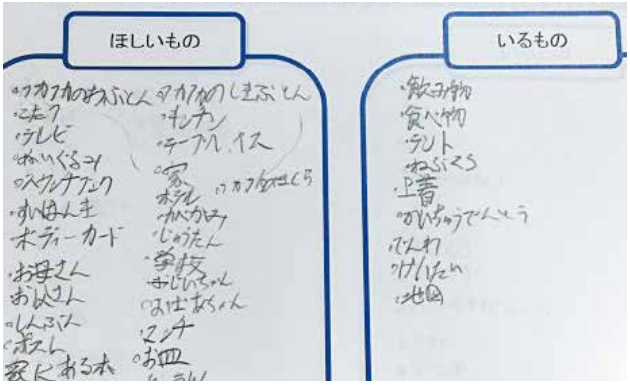
実践例

「将来の夢をかなえるために計画と行動を考えよう」

「なりたいもの」や「やりたいこと」を言語化し、自己実現に向け、行動するための計画をたてる。グループでの話し合いを通して、実現のための様々な方法を知る。

価値の理解

7　お金の理解　8　価値の理解
9　人の価値観



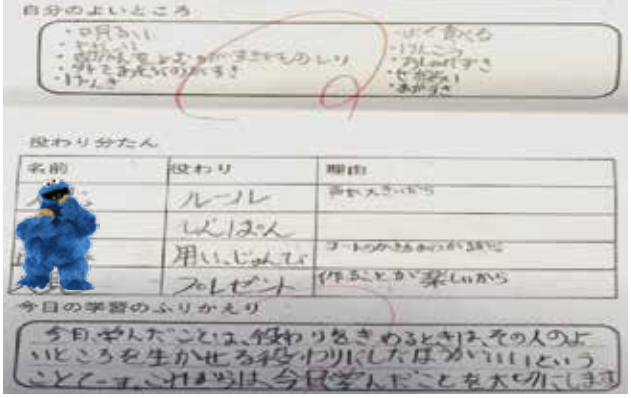
実践例

「海へ行くときにほしい物といる物について考えよう」

海へ行くときに「ほしい物」と「いる物」について個人で考えた後に、グループでの話合いを通して価値観の多様性に気付く。また「ほしい物」と「いる物」の違いを理解する。

方法と手段

3　計画をたてる　4　行動する
5　問題を解決する　6　コラボレーション



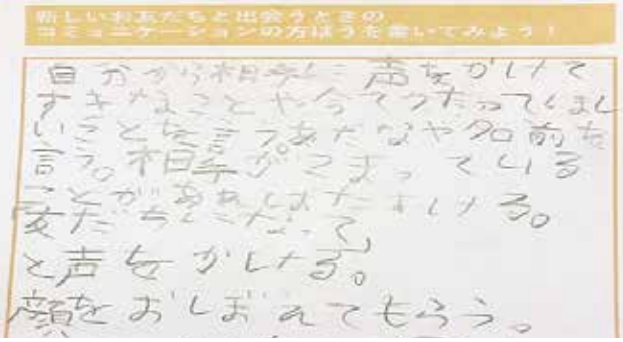
実践例

「役割について考えよう」

自分の得意なことや特徴を考え、グループでの話合いを通し、それぞれの長所を生かしながら役割分担をする。自分の役割を理解して行動する資質を育てる。

多様性とインクリュージョン

10　社会的スキル
11　多様性の理解
12　インクリュージョンの実現



実践例

「いろいろなコミュニケーションの方法を知り、みんなの考えを認め合おう」

自閉症スペクトラムのジュリアに初めて会うときにどんなコミュニケーションをとるかを考え、ジュリアへの接し方や様々な個性について理解する。

「指導の重点・主な施策」バックナンバー

H30版

- 「考え、議論する道徳」への質的転換
- 新しい学び ・経済教育 ・セサミ
- 戸田市の新しい英語教育
- インクルーシブ教育システムの推進

H29版

- ICT利活用 7＋2
- 協調学習の進め方
- 思考ツールの活用
- 授業のUD化 5つのチェックポイント